



戦後80年

鉄の暴風吹かせない

平和

社会連帯

地域共生

まちづくり

平和・未来フォーラム

10/15 (水) 13:00~

赤羽会館大ホール

JTSUは「戦後80年」・「沖縄戦から80年」の節目を迎えた今年、沖縄・広島・長崎に足を運び、戦争の悲惨さと平和の大切さを学んできました。

「戦後80年 平和・未来フォーラム」では、平和を基礎にした「平和観」「憲法観」「社会観」を未来へつなぎ、これからの輸送サービス（鉄道・バス）や地域共生（まちづくり）など、社会連帯に向けた運動づくりについて考えます！

予定プログラム

朗読劇 ～次世代に“つなぐ”メッセージ～

Peace Talk ～ピース トーク～

- 沖縄から (日本輸送サービス労働組合連合会)
- 広島から (横浜地方本部)
- 長崎から (大宮地方本部)
- 宮古島から (東京地方本部東京支部)

特別講演

ジャーナリスト 金平茂紀氏



「沖縄を戦場にしない」という理念がすべての出発点。この思いを継承・伝承していくことが重要であり、憲法9条を軸とした護憲の立場から自分たちが今、「戦時下にあるのではないか」という危機感を示す。

また、ウクライナ情勢などに対して「関心が薄れていくこと」が最大の問題であり、戦争への「慣れ」、世界の無関心化こそが最も深刻だと警鐘を鳴らす。

そして、「正義」と「平和」—二分されうる戦争観—の枠組みに言及し、「戦争の本質は殺し合いだ」と断じたうえで、「正義の戦争」など存在しないと強調する。